



照明探偵団通信

vol. 47 Shomei Tanteidan Tsu-shin

東京調査：吉祥寺 様々な要素が調和を保つ街

2011.07.12

東悟子 + 本多由実 + 渡邊元樹

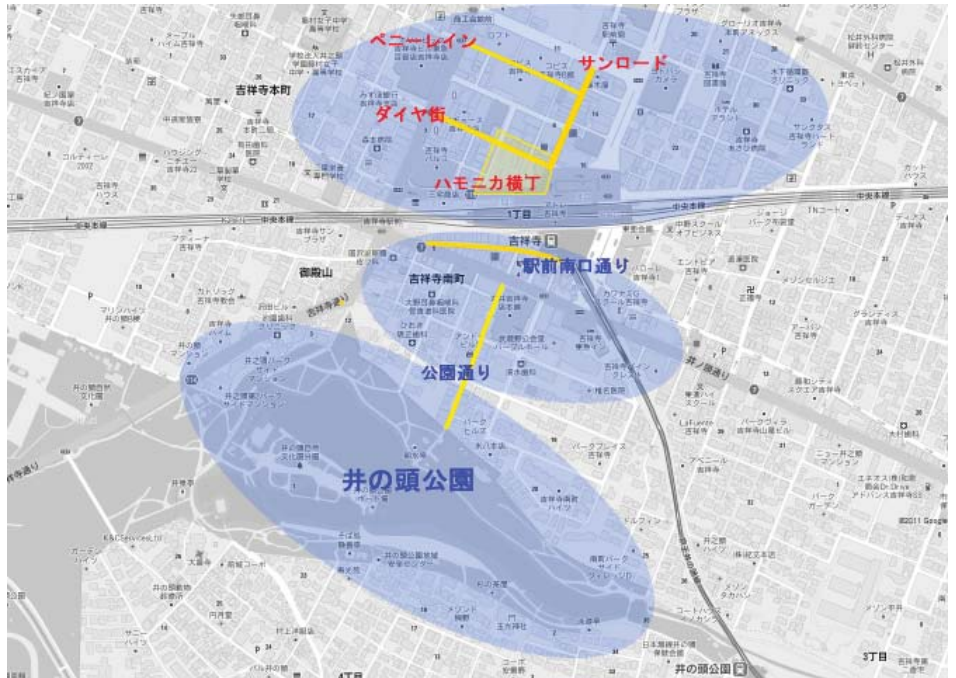
■調査エリア1：吉祥寺駅の北側

駅の北側には商業エリアが広がり個性的な通りが存在します。一見多くの人の流れや、商店の数の多さから雑多なイメージをもってしまいがちですが、実際街を歩いてみるとたくさんの情報が詰め込まれているものの、綺麗に街の中に収まっているように感じました。そこには基盤の目状に広がる区画に昔からの形状で残る商店街と、住民が自分たちの生活に責任を持って、積極的に未来への街作りを進める姿勢がありました。

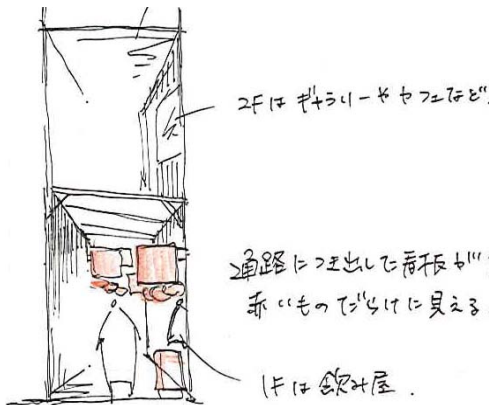
駅北口を出て、ロータリーをわたるとサンロードにつかかります。サンロードはアーケード式の商店街で、天井部分が開口式スクリーンになって、イベントの時にはスクリーンに映像が投影されます。現在、節電の影響で多くのベース照明は間引いて点灯されていますが、均等に間引かれていないため、床には明暗のむらが出ていました。

吉祥寺の北側の顔となるのがハモニカ横丁です。戦後すぐから闇市として発展し、現在も庶民に愛されています。横丁内ではバーやアジア料理の飲み屋、そして海鮮、精肉などを扱っている市場に分かれ

吉祥寺は、様々な要素が凝縮されている街です。それでいながら、あまり雑多な雰囲気がないように街が整理されています。民公が手を組み積極的に進められる街作りにはどのような光のルールが隠れているか、また生活の場でもある商店、公園等の光はどのような表情を形成しているのか調査しました。街は主に駅北側の商業エリア、駅南側の井の頭公園、井の頭公園と駅を繋ぐ公園通りというエリアに分かれ、それらを囲み基盤の目状に住宅が広がってゆきます。



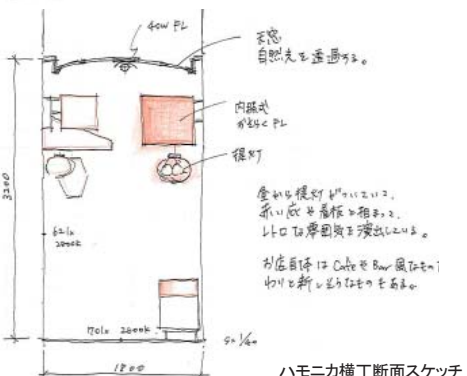
吉祥寺調査エリア地図



2Fはガラスカーヤフェスティ

通路に突き出し看板も赤いものだけが見える

1Fは飲み屋



ハモニカ横丁断面スケッチ



サンロード：節電減灯のため明暗のむらが大きい。天幕にはプロジェクターで演出することもあります。



ダイヤ街：アーケード入り口上部にLEDパネルが設置され、ここだけが近代的な雰囲気を出しています。



ハモニカ横丁：看板も提灯も赤い印象的です。怪しい光で人々を誘い込みます。



ベニーレーン：お洒落な街灯。なぜか明るい屋からついています。



吉祥寺駅北側のブルーモーメント時間帯。

ています。路地幅は1800mm天井も3200mmと決して広くはないスペースですが、鉛直面に一定の照度がとられているため、暗さや狭さを感じないことがわかりました。バーやレストランは色温度が低い光で統一され、店頭にはそれぞれノスタルジックな雰囲気の提灯が掛けられていました。

ダイヤ街はサンロードから西の吉祥寺通りまでのアーケード型の商店街をさします。アーケード入り口上部にLEDパネルが設置されて、天井のLEDドット照明など周囲とは違った近代的な光の演出がなされていました。菓屋や本屋等の色温度の高い商店が多かったためか、ハモニカ横丁やペニーレインがどこかノスタルジックな雰囲気を持つのに比べ、ダイヤ街ではLEDを用い、現代的な明かりの雰囲気を作ろうとしている様子が印象的でした。 渡邊元樹

■調査エリア2: 吉祥寺駅の南側

公園口を出ると、一方通行のバス通り沿いに飲み屋の袖看板が並ぶ通りに出ます。人の多さ、道の狭さ、バスとの擦れ違い、看板の多さなどがあいまって、雑多な雰囲気が生まれています。内照式の袖看板によって色とりどりの光が目につきますが、チェーンの居酒屋が多いせいか、他の街にもありそうな景色で、歌舞伎町に似ていると感じました。

公園の方に進んでいくと、一転、落ち着いた雰囲気 of 通りに出ます。両脇に並ぶ店はちょっとおしゃれなカフェやバー、古着屋、雑貨屋などで、ほとんどの店内照明は色温度が低めでした。街路灯として設置されているのは電柱についた蛍光灯(演色性は低いでしょう)ですが、3500mm幅の道に対して両側の店の漏れ光によって、路面照度は80lx程度が確保されていました。しかし、一步脇道に入ると店の漏れ光が無くなり、街灯もまばらで路面は7lx程度、メイン通りとの対比で余計に暗く感じられました。各店舗からの色温度の低い漏れ光によって落ち着いた雰囲気が演出されているのが心地よかったです。

公園の入り口にある、老舗の「いせや」の看板は節電中のためか消灯されていました。看板がついてい



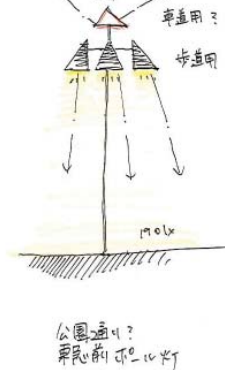
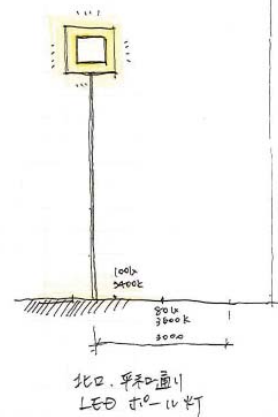
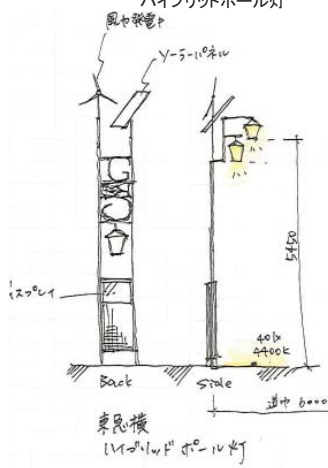
東急デパートの横に設置されているハイブリッドポール灯



駅北口の平和通り街灯



吉祥寺通りにある街灯



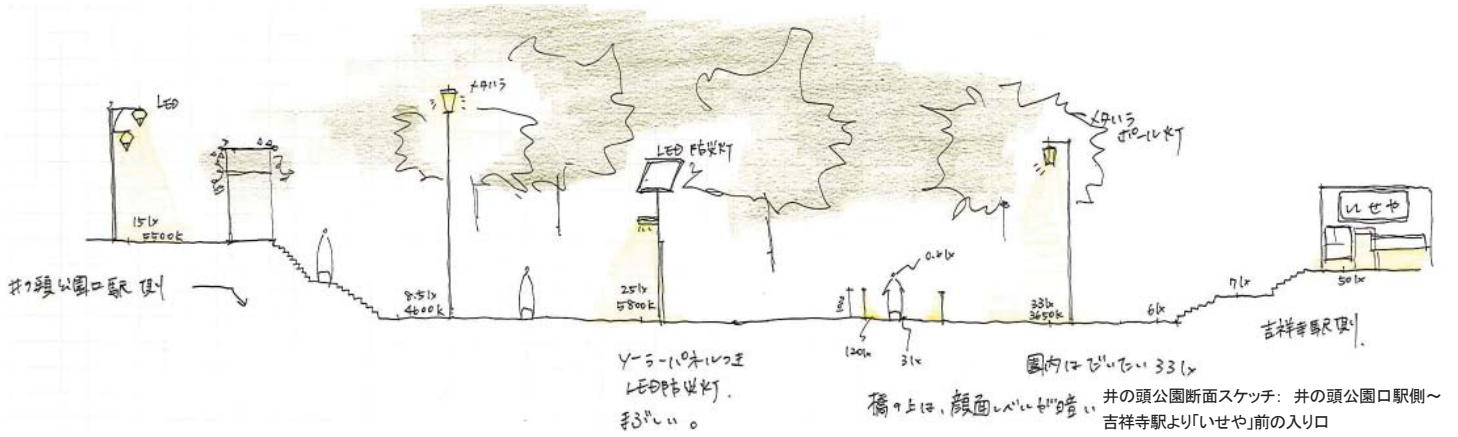
吉祥寺の街中ではいたるところに個性的な照明器具が存在しています。



吉祥寺駅公園口側。袖看板が連なり賑わいと雑多さを感じます。



公園通りでは色温度の低い店舗照明によって暖かな雰囲気を感ずります。



れば、暖かい通りの先にレトロな看板が見え、その奥に暗い公園が潜むという風景がより印象的になるのではないのでしょうか。 本多由実

■調査エリア3: 井の頭公園

吉祥寺の街が「回遊性の高い街づくり」を目指しているのと同様、井の頭公園も池を中央に配し、その周りにレストラン、カフェ、イベントスペースなどを設け、散歩コースとして人気が高い場所です。

夜は、うっそうと木が生い茂っているだけでなく、池があるため空が広く見え、月が出ているときはそのあかりを楽しむのに格好の場所となり得ますが、実際はメタハラのポール灯が点在し、周りの31lxというあかりの中で、街灯だけがまぶしく光り輝き、せつかくの公園も、雰囲気のないものになってしまっています。

橋の照明は、欄干部分に下向きのLEDがライン上に入っていました。欄干直下は120lxでしたが橋の中央部は3lx、すれ違う人の顔はよく見えません。ここにあってほしいというところに照明がなく、ただ存在している街灯は、夜の井の頭公園の雰囲気づくりに一役買うというアイテムにはなっていませんでした。

来年9月に行われる全国都市緑化フェアTOKYOのメイン会場となっており、整備工事が秋から開始されますが、夜も人々が暗さの中のわずかなあかりで、くつろげる、そんな照明の配置計画を是非おねがしたい所です。 東悟子

■街の感想

現代的なLEDが刻々と色を変えるアーケードには、赤い提灯がならぶ横丁への入り口があり、歌舞伎町のように袖看板が連なる駅前商店街から公園へ向かうと、暖かい光の並ぶ通りに入ります。色々な個性のお店がある、というだけだと、他の街とは違う魅力を感じられないでしょうが、色々な個性の通りが隣りあい、光のアイテムも通りごとに異なるのが吉祥寺の魅力の源ではないのでしょうか。

本多由実 様々な形をしている街灯はそれぞれが通りのキャラクターを表しています。ちぐはぐになるのかと思っていましたが、個性的な通りが共存している吉祥寺では、むしろそのちぐはぐさが吉祥寺らしいと思いました。調査前の予想で光と街の回遊性を挙げていましたが、もともとの土地の区画が基盤の目状に広がっていて、アーケード型の商店街が交差する北側は—



高い建物がなく、しかもアーケードが主なため屋上やファサードに設置されている看板も少ない街です。その中で公園側は暗く沈んでいます。



定の区間(商店街エリア)に特化して、その区間内を回遊させるという計画が見て取れ、逆にアーケードなどのない南側は東西を走る井の頭通りと井の頭公園まで続く公園通りに光が集まっていた。

渡邊元樹

住んでみたい街ランキングで、常に上位に来る吉祥寺。鉄道会社、商店街、市が協力して、街の魅力を向上させようと様々な取り組みをしています。その中で照明は、雰囲気づくりというよりはストリートに同じ意匠の器具を設置することで、統一感をもたせるのと同時に個性を持たせることに成功していると言えます。これに心地よさが加われば、さらに吉祥寺の夜の散歩が楽しくなると感じました。

東悟子

井の頭公園:足元は明るいですがすれ違う人の顔はみえません。園内歩道は33lxと照度はとれています。



調査お疲れ様でした！

【照明探偵団の活動は以下の 20 社にご協賛頂いております。】

ルートロンアスカ株式会社
岩崎電気株式会社
カラーキネティクス・ジャパン株式会社
パナソニック電工株式会社
ヤマギワ株式会社
マックスレイ株式会社
DN ライティング株式会社
エルコライティング株式会社
株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン
東芝ライテック株式会社
コイズミ照明株式会社
マーチンプロフェッショナルジャパン株式会社
タルジェットイ ポールセン ジャパン株式会社
株式会社遠藤照明
湘南工作販売株式会社
トキ・コーポレーション株式会社
山田照明株式会社
株式会社ウシオスペックス
森山産業株式会社
三菱電機照明株式会社



探偵団通信に関してのご意見・ご感想等随時受付中です！
お気軽に事務局までご連絡ください。